

きぼう



——— 基本理念 希望のある医療 ———



「新型インフルエンザ実地訓練」を実施しました

1月21日（土）に新型インフルエンザ流行に備えて実地訓練が行なわれました。高砂市が主催して健康福祉事務所や近隣市町、消防、医療機関が参加しました。訓練は、市内で患者が発生したとの想定で開始し、院内に臨時の「インフルエンザ外来」が設置され、防護服に身を包んだ医師・看護師が、検査や診察をし、陽性かどうかや隔離収容の必要があるかなどを判断しました。



防護服を着ての診察風景

続いて流行期を想定した訓練では、病院の駐車場を施設に見立てて「臨時診察室」を設け、感染拡大を防ぐため患者は車に乗ったまま「ドライブスルー方式」で診察し、重篤な患者は救急隊が医療機関へ搬送しました。今後も、インフルエンザ流行時に備えて地域全体で取り組んでいきたいと思ひます。

眼科外来 4月から医師が増員されます

～目を通して、患者さま一人ひとりと～

こんにちは、眼科外来を紹介させていただきます。眼科は現在、菅原医師を中心に看護師3名、視能訓練士3名、眼科コメディカル1名のスタッフで、1日平均約70人の外来患者さまを診療しています。

主な疾患は、結膜炎・眼瞼炎・白内障・緑内障・糖尿病性網膜症を始めとした眼底疾患や、斜視・弱視などです。眼科は検査の多い科ですが、新しい器械も導入され、短時間で正確な検査が出来るようになっていきます。早期発見・早期治療のために、必要な検査は出来るだけその日に行うようにしています。



白内障の検査



〈笑顔とチームワークをモットーに頑張っています〉

当院は、重症の糖尿病の患者さまも多く、糖尿病性網膜症に対しては積極的なレーザー光凝固治療を行っています。また、手術に関しては白内障が中心ですが、網膜硝子体・緑内障などの手術にも対応しています。手術件数は年間約380件です。

4月からは、常勤医師が1名増員され、医師2名による診療体制となります。今後は火曜日も外来診察を開始し、待ち時間の短縮とより充実した医療が提供できると考えております。

BLS(一次救命処置)を学ぶ

「突然、人が目の前で倒れたらどうしますか？」

反応がなく、心肺停止状態の人を蘇生することをBLS(Basic Life Support)といいます。当院では、平成16年より全職員を対象にBLSを浸透させることを目的として研修会を開始しました。

現在では、毎月第3土曜日に院内BLSコースとして医師および看護師がインストラクターとして研修会を実施し、院外の研修会や一般市民向けの講習会にも積極的に参加しています。

最近では「AED」をよく耳にするとは思いますが、しかしそれがすぐに届くとは限りません!!そのために「脳に有効な血液を送ること」「その人を助けたい」という思いで胸骨圧迫(心臓マッサージ)のトレーニングを積み重ねています。

今年度は、医療職だけでなく事務の方も含め97名が研修に参加し、研修終了後には「楽しく受講し自信がついた」と言われています。研修会を今後も続けて多くの人にBLSを学んでほしいと思っています。





院内発表会



職員の和(輪)をつむぐ 院内から地域へ

当院では、毎月第4木曜日にテーマに沿った内容で「院内発表会」を実施しています。医師、看護師、コメディカルが発表することで、職員がお互いを知り合い、認め合うことができます。

また、『院長のつぶやき』というコーナーがあり、病院トップの考え方や経営状況を説明しています。現在の収支をオープンにし、病院におけるコスト意識を個々に持つことで、当院では「経営のV字回復」を目標年度よりも早く達成することができました。今後発表は、院内だけではなく「まちづくり出前講座」など地域の方に発信できる場に活かせればと考えています。



院内コンサートへの思い



名誉院長 後藤 武男

楽しい音楽は、誰にも豊かな安らぎを与えてくれます。何年か前から、麻酔科の佐牟田先生の発案で、少人数の院内の有志で、院内アンサンブルと看護師等によるダンス等ささやかな演奏を始めました。懐かしい童謡、民謡等を中心に、患者さんの前で演奏および実演いたしました。患者さん達の評判もよく、年々レパートリーを増やしてまいりました。脳外科の松井先生の努力で、従来の曲目に加えみんなによく知られた多くの歌曲もさらに追加され何時の間にもやら、ダンスチームと、管楽器、弦楽器奏者も含めて20人を超えるメンバーになりました。



～ピオラを奏でる名誉院長～



みんなでハイポーズ

2年前から、春の雛祭り、夏の七夕、冬のクリスマスと3回の演奏会が施行される様になりました。年々聴衆も増え大勢の入院（持続点滴を受けておられる患者さんを含めて）、外来の患者さんが出席されますが、聞きますとみんな大変楽しみにしておられるようで次の予定を盛んに聞かれます。そのためスタッフも忙しい合間を利用して、練習に励んでおります。患者さん達に、“心の栄養”と、間接ではありますが、“治療力の改善”を目的に更に幅の広い活動をやっていきたいと思っております。



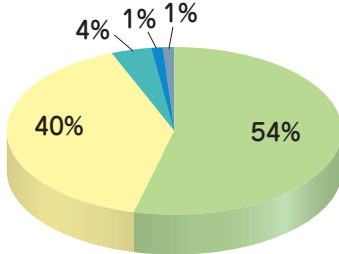
満足度調査結果のご報告



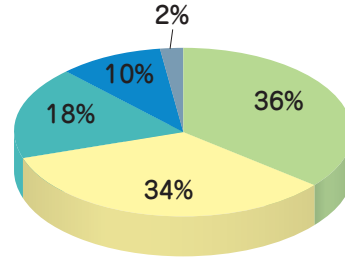
平成23年11月に患者さま満足度調査を実施しました。ご協力いただきましてありがとうございました。結果を真摯に受け止め、よりよい病院運営のために、より一層努力してまいります。



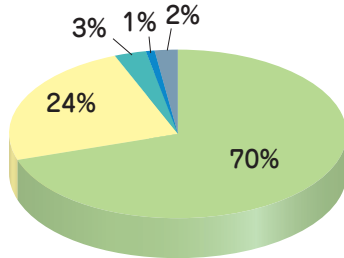
院内全体の印象は？



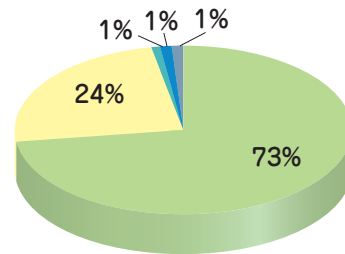
診察の済むまでの時間は？



職員の説明は？



職員のあいさつは？



防火訓練を実施しました

2月8日(水)に防火訓練を実施しました。院内で火災が発生したとの想定で消防隊と連携をとりながら訓練を行いました。訓練では消防隊に院内突入してもらい、消火活動やストレッチャーやタンカ、車いすを使っての避難誘導を行ないました。また消防隊の指導のもと放水訓練も実施しました。今後も、このような緊急事態にスタッ



フ全員が対応できるように訓練を続けていきたいと考えています。

いい汗かきました!

2月26日(日)に「第2回高砂浜風駅伝大会」に参加しました。今年は、2チームがエントリーし、みんな全力で走りました。いつもの白衣を着替えスポーツウエアに身をまとい、タスキをかけ普段とは全く違う感じがとても新鮮でした。今後もいろいろなイベントに積極的に参加していきたいと思っています。



<編集・発行>

高砂市民病院 広報誌編集委員会

〒676-8585 兵庫県高砂市荒井町紙町33番1号

TEL 079-442-3981(代表) Mail tact5510@city.takasago.hyogo.jp